

事業所名

発達支援支援事業 めだかのいっぽ

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

21日

法人（事業所）理念		『せっかく生まれてきた一度きりの人生をこの街の中で一緒に豊かに生きていきたい』という理念の元に「街のなかで元気にのびのび育ってほしい。」そんな家族の思いを大切にしながら、地域での子育てを支えていきます。								
支援方針		児童が日常生活における基本動作を習得し、また集団生活に適応することができるよう、当該児童の心身及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、指導及び訓練等を適切に行うものとします。								
営業時間		9時	0分	から	15時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもの睡眠リズムを知り、年齢・身体状況に応じたりズムが作れるようにする。 一人ひとりの子どもの排泄状況をつかみ、気持ちよく排泄することから最終的には自立に向かうようにする。 食事の形態・量に配慮し楽しい雰囲気の中で食事に向かうことを大切に充足感を味わっていく。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 戸外での遊びの中で外気に触れ光や風・土など自然を身体で感じていく。 様々な変化する素材(水・砂・土・小麦粉粘土・寒天・片栗粉など)を使い、子どもたちが自ら関心を持って取り組めるよう工夫する。 体操や音楽にあわせて身体をしっかりと使って遊んでいく。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 日付・曜日・スケジュールを視覚でわかるように掲示していく。 一人一人の認知の特性に合わせて、情報を分かりやすく工夫し、適切な行動につなげられるようにする。 								
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なあいさつや会話など、円滑なコミュニケーションを行う事ができるようにする。 身振りや絵カードなど視覚的にわかりやすく伝える工夫をし、いろいろなコミュニケーション手段を使ってやり取りを楽しんでいく。 								
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 信頼関係を土台にその他の大人へと関係を広げたり、友達への興味関心を深めていく。 集団活動や遊びを通して、ルールを学び順番を守ることや、相手の気持ちを知り強調した関わりを持てるようにする。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子育てや家庭生活に関する相談援助を行う。 きょうだい児に関する相談援助を行う。 保護者会や交流会の実施を行う。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 保育所等の併用通園先との連携を取っていく。 就学に向けての情報共有や選択にむけての支援をしていく。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて関係機関と連絡調整を行い、情報収集、役割分担について連携を図る。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 月例会議 研修 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> *入園式 *始業式 *春の遠足 *じゃがいもほり *運動会 *お別れ遠足 *卒園式 *修了式 *季節の行事(ハロウィン、クリスマス、豆まきなど) *誕生会 *水遊び、プール(夏季) *クッキング *防災訓練 *家族参観 *保護者会 *学習会、相談会 								